

◆特別講義①〔書店・図書館等関係者における対話の場について〕への質問◆

質問1 p.138 公共図書館の所蔵傾向にある「女性を対象とした書籍」というのは、どういったものでしょうか。（説明を聞き逃していたなら申し訳ございません）

回答 Cコード販売対象における「婦人」に該当する書籍となります。ファッション、家事、育児を主題とした書籍がそこに含まれます。

質問2 蔵書傾向についても論じていただきましたが、司書が適切な選書を維持していくにはどのようなことに心がけるとよいでしょうか。

図書館が国の発展や人々の幸福のためにあるとしたら、やはりどんな蔵書をしていくのが重要と考えます。我が国であれば、いわゆる失われた30年や外国勢力の脅威への問題解決が急務であると思われませんが、図書館こそが偏向することなく中道で骨太な蔵書を揃える必要があると思います。司書がポピュリズムに陥ることなく両翼広範囲に選書ができるためには何が必要なのだろうかと考えるところです。

回答 今のところこれが正しいという資料選択はありません（ただし不正解はあります）。資料選択における「正しさ」を確定するための議論は未だ不十分です。私個人が考える「心がまえ論」をここで展開することも可能なのですが、裏付けには欠けることになります。したがって、裁量権を持つ図書館員として、あなたが地域に貢献できると信じる資料選択を行えばよい、と考えます。